



9月10日は「下水道の日」です



「下水道の日」は、昭和 36 年に下水道普及促進を目指して制定されました。

「下水道の日」をきっかけに、下水道の役割を再認識し、下水道の正しい使い方を心がけましょう。

<下水道の役割>

- ①川や海をきれいにし、自然環境を守ります。
- ②悪臭、蚊等の発生を防ぎ、生活環境を改善します。

<下水道は正しく使いましょう>

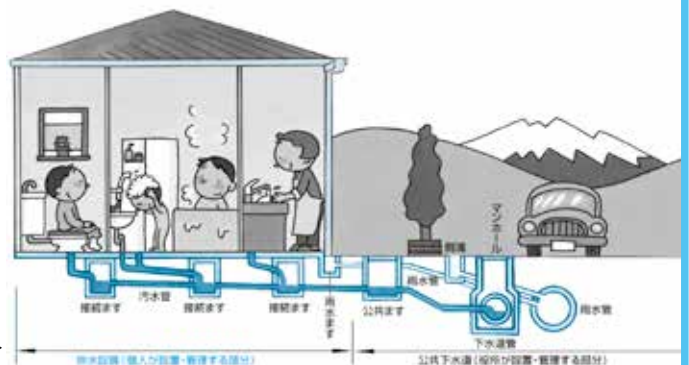
下水道に流してよいのは、家庭などで使われた後の汚れた水だけです。下水道の使用については、次のことに注意してください。

- ◆油や野菜くず、残飯等を流さない。
- ◆トイレトーパー以外の紙やおむつ等を流さない。
- ◆髪の毛やごみを流さない。
- ◆洗剤等は適量を使用する。
- ◆雨水は流せません。(側溝などへ排水する)

<下水道への接続をお願いします>

公共下水道の供用区域は、中須・あけぼの・かもしま地区と中島・中吉田・駅前・赤城・栄町の一部です。
農業集落排水の供用区域は、横田・安富地区、宇津川・仙道地区です。

区域内にお住まいの方で、まだ下水道へつなぎ込みをされていない方は、早めの接続をお願いします。



日本下水道協作成
環境教育ポータルサイトより▶

【問い合わせ先】市下水道課 ☎ 31-0323

匹見と美都をグッと身近に！「ヒキミトコーナー」ウェブサイトのご紹介

人々の暮らし、地域の取組、豊かな自然… 匹見と美都には、まだまだ知られていない魅力がたくさんあります。益田市まちづくりコーディネーターの石橋留美子さんが匹見や美都での活動を通して紹介します。



～空に近い開拓地・美都町中倉に息づく、先人の魂と今の暮らし～



標高およそ 240m。空が近く、開放的な農地に牛が放牧されています。「美都にこんな場所が！」と新鮮な感動を覚えた私のお気に入りの場所。ここは、現在の東仙道と都茂にまたがる中倉と呼ばれる地域です。

戦後の深刻な食糧難や失業救済、自作農創設を目的とした国策で、昭和 24 年に中倉への入植が始まりました。入植者は、新たな生活の場を求める引揚者・戦災者・疎開者と、耕作面積の拡大を望む地元農家でした。



▲肉用牛を育てる
河野健輔さん

人力の開墾作業は過酷を極めました。後継者グループ「青光の会」を中心とした結束力のもと、葉タバコや酪農などで生計を立て、先人が築いた歴史を守り抜いてきました。現在もこの地で、肉用牛や緑化植物の生産販売などを担う開拓二世がおられ、緑化生産では息子さん、お孫さんも汗を流されています。近年はバギー場や新規就農者のビニールハウスも建ち、新たな活気も生まれています。



▲息子さん、お孫さんと
緑化植物の生産販売を
行う桜井藩さん

掲載記事は
こちら▼



検索してみよう

ヒキミトコーナー

【問い合わせ先】市地域振興課 ☎ 31-0600